

環太平洋経済の現状と展望

——アジア・中南米比較——

福地崇生・加賀美充洋 編

環太平洋経済の現状と展望

— アジア・中南米比較 —

福地崇生・加賀美充洋 編

アジア経済研究所

ふくち たかお
福地 崇生 (京都大学経済研究所教授)

かがみみつひろ
加賀美充洋 (アジア経済研究所総合研究部主任調査研究員)

環太平洋経済の現状と展望

—アジア・中南米比較—

研究双書399

1990年3月30日発行© 定価2472円(本体2400円)

編者 福地崇生・加賀美充洋

発行所 アジア経済研究所 東京都新宿区市谷本村町42
電話 東京(353)4231(代)

発売所 アジア経済出版会 東京都新宿区市谷本村町42
電話 東京(353)4231(代)
振替 東京5-143692

印刷所 三陽社 東京都板橋区高島平9-13-7

ISBN4-258-04399-0 C3033

目 次

序 文	宗像 善俊	
序 論	福地 崇生・加賀美 充洋	1
第1章	環太平洋経済の現状と将来	
第1節	アジア・中南米における経済の現状と展望	
	F. ジェラルド・アダムス	5
第2節	「アジア論文」：環太平洋経済の見通しと課題	
	アジア経済研究所総合研究部	
I.	環太平洋における経済開発の30年	
	藤崎 成昭・浜口 伸明・山形 辰史	11
II.	環太平洋地域の1995年経済見通し	
	福地 崇生・小口 登良	17
III.	1970年代以降の一次産品価格メカニズム	
	朽木 昭文	23
IV.	産業構造の変化と貿易・投資の役割	
	平田 章・長田 博	28
V.	環太平洋地域における資金の流れ	
	柳原 透	35
	(パネリストの発言)	42
1.	チェ・チャンナク	
2.	スパチャイ・パーニットパック	
3.	シー・ミン	
4.	田中 直毅	
5.	ハイメ・サブルドフスキー	
第2章	アジア・中南米経済発展比較	

第1節	アジア経済の現状と問題点—NIES とそれに続くもの—	
	セイジ・ナヤ	48
第2節	中南米経済発展の現状と問題点	
	ミゲル・ウルティア	56
	(パネリストの発言)	62
1.	加賀美 充洋	
2.	ター・ボンホ	
3.	ベルナルド・コサコフ	
4.	ブレッセル・ペレイラ	
5.	オーガスティン H. タン	
第3章	発展比較——資源賦存と国内市場規模	
第1節	資源賦存と発展パターン	
	久保 雄志	68
第2節	資源輸出国の経済発展—インドネシアの事例—	
	イワン J. アジス	73
第3節	資源輸入国の経済発展—韓国の事例—	
	ター・ボンホ及びナム・サンウー	79
第4節	経済停滞のロジック—ブラジルにおける債務・財政赤字・インフレーションの悪循環—	
	ブレッセル・ペレイラ	85
	(討論者の発言)	91
1.	タワッチャイ・ヨンキティクル	
2.	鈴木 長年	
3.	ミゲル・ウルティア	
4.	ソリタ C. モンソド	
第4章	発展比較——マクロ政策選択	
第1節	経済発展における政府の役割—中南米から見る—	
	アンドレ・ピアンキ	96

第2節 財政のアジア・中南米比較	
加賀美 充洋	101
第3節 貯蓄・投資ギャップ—マレーシアの事例—	
シー・ヤン・リン	106
(討論者の発言)	109
1. グスタボ・アンドラーデ	
2. イワン J. アジス	
3. ベルナルド・コサコフ	
第5章 発展比較—ミクロ政策選択	
第1節 計画と市場メカニズム—中国農業の事例—	
山本 裕美	112
第2節 政府介入と民間活用—シンガポール工業の事例—	
オーガスティン H. タン	118
第3節 マクロ経済不安定下のアルゼンチンの工業発展と輸出	
ベルナルド・コサコフ	123
(討論者の発言)	130
1. シー・ミン	
2. アンドレ・ビアンキ	
3. 柳原 透	
第6章 累積債務問題と調整政策	
第1節 メキシコにおける構造調整のための通商産業政策	
ハイメ・サブルドフスキー	135
第2節 発展か債務返済か—フィリピンの開発戦略とIMFの処方箋—	
ソリタ C. モンソド	141
第3節 産業政策の活用	
糟谷 晃	146
(討論者の発言)	150
1. モハマド・サドリ	

2.	ルイ J. エメレイ	
3.	ブレッセル・ペレイラ	
第7章 国際貿易と政策協調		
第1節 貿易不均衡対策としての政策協調		
	スパチャイ・パーニットパック	155
第2節 アジア太平洋における政策協調		
	田中 直毅	160
	(パネリストの発言)	166
1.	F. G. アダムス	
2.	ハインツ W. アーント	
3.	チェ・チャンナク	
4.	シー・ヤン・リン	
5.	柳原 透	
第8章 地域協力と世界経済への貢献		
第1節 GATT 体制, 自由貿易協定及び地域協力		
	ハインツ W. アーント	171
第2節 アジア太平洋協力と国際経済への貢献—その歴史と将来展望—		
	鳥居 泰彦	176
	(パネリストの発言)	182
1.	カミロ・バルシア	
2.	ナム・サンウー	
3.	モハマド・サドリ	
4.	シー・ミン	
5.	ハイメ・サブルドフスキー	
シンポジウム総括報告		
	福地 崇生	188

付 録

1. シンポジウムにおける挨拶
 - A. 開会式での歓迎のことば
三村 庸平 194
 - B. 来賓の挨拶
甘利 明 196
 - C. 歓迎の挨拶
鈴木 徳衛 197
 - D. 閉会の挨拶
宗像 善俊 198
2. シンポジウム・プログラム 200
3. シンポジウム参加者リスト 204
4. シンポジウム事務局リスト 206